

サーチライト With Pastor Jon 創世記 2 章 パート 4

このメッセージはアップルゲート クリスチャン フェローシップの、ジョン・コーソン牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録するのを感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りよくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4 : 7

メッセージ by ジョン・コーソン牧師 アップルゲート クリスチャン フェローシップ

<http://joncourson.com/>

7590 Highway 238 Jacksonville, OR 97530

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Rumi

男性の皆さん、あなたがストレスを吐き出し、打ち明け、夢を語り、色んなことを話してきた人たち、多くの場合、その人は女性です。

彼女を性の対象とは見ていないし、そんな気もない。

それでも、その人は、あなたにはないものを持っています。

それは、鋭い感性、繊細さ。

あなたが男性に悩みを相談したら、大抵は「何だ、成長しろよ！」「しっかりしろ！」

「ラケットボールでもしに行こうぜ！」なんて言われてしまいます。

しかし、職場の女性や教会の仲間である女性は、「まァ！ そうなの？...」「あなたの痛みが分かる...」と言うのです。

〈そうなんだよ。〉〈まあね。〉と、この時点では、あなたは彼女に惹かれてはいません。

ロマンチックなことは何もないでしょう。

性的な感情ありません。この時はまだ...

しかし、その女性が単なる同僚か友達、もしくは上司か戦友か秘書か、何であれ、あなたが商売の取引に失敗してガッカリしており、仕事が上手くいかない事などを打ち明けた時、彼女は女性特有の繊細さを見せます。

それから、もっともっと色んな事を分かち合うようになって、何となくコーヒーでも飲みながら、とか、仕事で次の約束の所に行きながら、とか、何であれ、彼女と共有しあっていると「おお！ 彼女は...！」

そうして、帰宅したら、妻が痛に障るようになる。突然に。

自分でもなぜだか分からない。

その女性に対して、別に恋愛感情はないし、やましいことは何もない。

それでもなぜか、職場の、教会のその女性は、本当に自分を分かってくれる。

妻に対しては...あなたが「髪を切ったらいいのに」と言うからカットすると、「長い方がいいのに」だからまた伸ばす。

「部屋を掃除して欲しい」と言うから掃除すると、今度は「そんなに熱心にしなくてもいいのに」

妻がどうしようと、妻が何をしても、何か全く違うように感じてしまう。

だれも、ふたりの主人に仕えることはできません。

一方を憎んで他方を愛したり、(マタイ 6:24)

そして、妻は気付くんです。何かが起こっていることを。

それは、たとえ仕事をする上で必要であるとしても、全ての他のものを断ち切っていないから。

あなたは思いや宝、精神的なものをその女性に注ぎ込んでおり、そのことが、あらゆる面ですべてつもなく大きな問題となっていくのです。

あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるからです。(マタイ 6:21)

「い——や!! 私は違う!」「彼女は、悩みを話したり、将来のビジョンや夢を語り合ったりするだけの、ただの友達だよ。」

イエスは言っています。「どこでも人の宝のある所に、その心もある。」

もしあなたが、主以上に分かっていると思っているなら、大変なことになります。

パウロは自分が育てた若い牧師、テモテにこう言いました。

「もし女性に何かを質問したいなら、自分の夫に尋ねるようにと言いなさい。」

「でも、うちの夫は何も知らない。」なんて、妻たちは言うでしょう。

「先生は素晴らしい。先生とお話したいのです。」

こんな時は、「ご主人に話しなさい」と言うべきです。

夫が、私か私たちか、誰のところでも尋ねて来たら、彼に教えることができます。

それから彼は妻のところに行って、聞いたことを共有することができます。

そうあるべきだと、パウロは言っているのです。

女性が男性のあなたに聞きたいことがあると言う時、相談に乗ったり、対話したり、分かち合ったりしてはいけません。ダメです!

皆さんのほとんどは、私がお話していることを既に知っていますね。

でありながら、それでもまだ会っているのなら、あなたは分かっている。

それで、今もまだ思っている。

「まあ、あの人たちには、彼女には、彼にはそれも当てはまるかもしれない。だけど、私の秘書は大丈夫。」

「ここにいる交わりのグループの人となら大丈夫。」

「彼女になら大丈夫。」「彼女なら...」

違います! 結婚生活が大切であるなら。

今夜、私がこういうことを言うのは、ここでも問題が起きているからです。

この重大な問題のために、ここ数週間だけでも 5-6 人の“素晴らしい”兄弟姉妹たちが道を踏み外してしまいました。

彼らは、他の人との関係から離れなかったから。

これでもまだ、「さあ、どうかな。それを受け入れるかどうか分からない。」などと言いつけて、職場の女性と冗談を交わしたり、男性に心の中を打ち明け続け、

「現実的に、そうすることはお互いに役立つから。」

「彼は一緒に学ぶただの仲間だし。」

「彼女は一緒に働くただの同僚で。」とか何とかで、

「別に惹きつけられている訳じゃない。」

そうかもしれません。

でも、最終的にはそうなります。

宝を共有すると、心はそれに付いていくから。

私たちは結婚が破綻するのをたくさん見てきました。

誰かがセクシーなネグリジェ姿でこっそりやって来て、あなたを誘惑するということは滅多にないですよ。

そんな罠ではありません。

皆さんは、そんな罠からは程遠いところにいるでしょう？

罠は、男性の皆さん、あなたが教会のその姉妹と一緒に祈るところに、女性の皆さん、その兄弟と共にいるところに、あるのです。

分かち合い、相談、質問、それ以外の全てのことで、あなたが他の人から離れない限り、確実にそうなってしまう。

自分は例外だと思うでしょうが、これには例外はありません。

そして、あなたの配偶者すなわち夫や妻はそれを感じ取り、家の中はピリピリして、「なぜ妻のことが気に入らないのだろうか？」「どうして夫のことが好きじゃないのかしら？」

それは、あなたの宝が違うところに行っているから。

離れなさい。

その証拠に、破綻している夫婦を連れ出して、10 年間孤島の荒野のような所で過ごさせると、彼らはうまくいくようになります。

まず、他者との関係を二人の間から取り除かなければなりません。

聞いて下さい。

二人の間に他の人間関係が入り込んでいる限り、夫婦が一つになることはできません。

もう一度言います。

教会内の異性の信徒に関して、パウロは非常に明確に書いています。

独身、或いは夫と一緒にいない若い女性がどうするべきか。

若い女性がアドバイスを求めるべきは年配の、誰ですか？ 牧師？ 教会の年配の男性？ 職場の年配の男性？

いいえ。

そうではなく、年配の女性です。そうあるべきなのです。

他の関係から離れることのパート 2。

男はその父母を離れ (創世記 2:24)

とてもとても大事な人、かけがえのない人たちから離れ、そして、結び合う。

離れて結び合う。

どういう意味ですか？

“結び合う”の意味は、そのまま“結び付く”ということです。

そうすることで一つとなる。

性行為、ロマンス、性欲。世はこれを理解していません。

聖書が教えているのに、この世が全く理解できていないこと、完全にモヤに包まれていて、まるっきり無知であること、それは、セックス。

セックスには、ただ二人の体が一つになるということだけではなく、それ以上の意味があるのです。

なぜなら、単に肉体的な満足だけではなく、実のところ、それは重要なことではなく、セックスによって魂を分断することになるから。

だから聖書は、『あなたの夫、妻を欺くな』と強調しているのです。

『もしあなたが姦淫を犯すなら、結婚外で肉体関係を持つなら、自分の魂を破壊する。』

あなたは魂を手放す。魂を。

体ではなく、体以上の、あなたの本質を手放してしまう。

聖書は、『結び合うことによって二つの魂が一つになる』と教えています。

男と女が真に一体とならなければ、彼らの魂が一つになることはありません。

結婚に於いて、それぞれが魂を交わして二人は一つになる。

“性的に結び合う”ということが言外に意味することは、極めて重要なことなのです。

「夫にもっと愛情を感じるなら結び合いますよ！」 逆です!!

「妻を感じるものがあるなら結び合うよ！」 逆!!

凄く皮肉な人たちはこう言います。

「もっと情熱を感じたら、もっとロマンチックな感情を抱けたら、私だって結び合うのに。違う感情を持ってしまうから...。」

あなたは分かっていない。

そういう感情は、結び合うことによって得られるのです。

それが、セックスです。

セックスは単に生殖が目的なのではありません。

勿論、子供が与えられるためでもありますよ。

しかし、一つになるため。二人が一体となるためなのです。

二人が結び合い、一つになることで、それぞれの魂が真に融合する。

そうしなければ、互いを遠ざけ、距離を感じるようになります。

多くの場合、これが、問題を抱えている夫婦のカウンセリングでは大変な障害で、

「妻に対して特別な感情を持てるようになったら、彼女に自分を捧げてもいい。」

「夫に対してそんな感情を抱けるようになったら、私自身を捧げてもいい。」

ですが、本当のところ、結び合うことによって、あなたの中の感情が育っていくのです。

これは、信仰生活のあらゆる領域に於いて言えることです。

主は言います。「踏み出しなさい。そうすれば、海を分けるから。」

あなたは言います。「海を分けて下さい。そうすれば、踏み出します。」

主はいつも「あなたが〇〇すれば、わたしは〜〜しよう。」

私たちは「主よ。あなたが〜〜して下さい。そうすれば、私は〇〇します。」

主は、「それは、信仰ではない。」

あなたが自分自身を夫に捧げ始めると、気持ちは後から付いてきます。

どうしてですか？

それは、あなたが、まさしく宝である自分の魂を注ぎ込むからです。

自分の宝を夫の中に注ぎ込む。

これは、とてもとても分かり易くて真実なことの一つであり、世界を大きく変えることができるのです。

神は「二人は一体となる」と言いました。

裸でありのままでも恥ずかしくなく、完全に開放され、互いを祝福する。

どんな時に？

あらゆる他の関係から離れ、二人が結び合う時に。

「でもジョン。私ではなくて、友達のことなんだけど...その人が結び合わない理由というのが、何と云うか...その...気持ちが...心が...」

聞いて下さい。

皆さんがしっかりと把握するために、今から極めて重要なことを話します。

私も、感情の不一致、心ここに在らず、ということは分かります。

私は自分の心を変えることはできません。

が、自分の考えを変えることはできます。

神は唯一、私の心を変えることができます。

が、私の考えを変えることはしません。

しかし、私が考えを変えることを選ぶなら、神は私の心を変えるのです。

これ、以前聞いたことがあるでしょ？

ご主人たち、奥さんたち、独身の人たちも聞いて下さい。忘れないように。

感情は、あなたが考えて下した決断と、献身的な行いに従って付いてきます。

「妻への思いがあるなら、彼女にポエムの一つでも書きなさい。」

主は「ポエムを書きなさい。そうすれば、妻への感情が起こってくる。」

「夫への気持ちがあるなら、クッキーでも焼くのに。」

主は「クッキーを焼きなさい。そうすれば、彼への感情が湧いてくる。」

「気持ちがあれば、聖書が言うように結び合うのに。」

主は「結び合いなさい。そうすれば、感情が湧いてくる。」

すぐに？

聖書が教えていることを常に行っていく過程で、自分の考えを変え、

「もうこれ以上、結び合わないことへの言い訳や、離れないことへのこじつけや正当化はしない。私は全ての他の人から離れ、配偶者と結び合う。」と言うなら、そうしたなら、そこには一体となる祝福があるので

す。
なぜなら、離れて、そして結び合うこと、これが、エデンの園で行われた人類初の結婚式で、神がアダムとエバに命じたことだから。

正直な気持ちを話しますと、昨夜の学び会で、私は何としても最低 6 章までは行きたくて。信じないかもしれませんが本当に。

それで、かなりいいペースで進んで半分ほど終わった頃、聖霊が、今日話したことを語るようにとしきりに迫って来るのを感じていました。

皆さんの多くは、もうこういったことは分かっていると思います。

中には、私よりももっと申し分のない、説得力のある説明ができる人がいることも知っています。

そしてまた、この中には、離れることをしていない人たちがいることも、結び合っていない人たちがいることも。

それぞれに色々な理由があるでしょう。

だからこそ、聖霊は、昨夜も今夜も、このことについて話すようにと強く要求したのだと思います。

皆さん。言っておきますが、これは、ただ考えるだけ、同意するだけではダメなのです。

実行しなければ。

もし「彼女はただの友達だ。」「彼女はすごく繊細なだけさ。」というような同僚や友達がいるなら、あなたは最後には、多かれ少なかれ、妻を見下してしまうことになります。

その女性から離れなさい。徹底的に。きっぱりと。

もし他の男性と関わっているなら、彼から離れなさい。今夜、今すぐに。

何も性的関係のことを言っているのではありません。

私が言っているのは、あなたの行為は、胸が張り裂けるような悲しい思いをもたらす、ということです。

性的に何もやましいことがないとしても、恋愛感情がないとしても、あなたの家族や結婚の破綻はもう始まっているから。

このことを信じるか、心と耳を閉ざしてまだ続けるか。

知恵があるなら、今夜席を立つ前に、車に戻る前に、運転して帰宅する前に、小さな声でも祈りましょう。

「天のお父さん。今日、あなたのみことばを聞きました。私は今、完全に彼女（彼）から離れます。たとえ世間が、あなたたちは単に友達で、何も悪い事はしていないと言っても。」

私は、相手に対して失礼な、乱暴なことをしろと言っているのではありませんよ。

その女性が来た時に「出て行け!!」と言え、なんて全く言ってません。

挨拶もするな、親しく言葉を交わすなど言っているのではありません。

けれども本心話をさせてもらおうと、ビクトリア朝時代には、男女間の礼儀や関係について気を遣うのは、そんなに変なことではありませんでした。

それが時が過ぎ、今では、休憩時間に男女が共に過ごし、一緒に歩きながら仕事の夢を語り合うことが平気

になっています。

数世代前までは、そんなことはありませんでした。

それにはちゃんとした理由があったからです。

今では、そんなことをいう人を笑い者にし、ビクトリア朝時代の性的なガードの高さをバカにします。

しかし、女性が男性を“ミスター”と敬称をつけて呼び、男性が女性を“ミス”と敬称で呼ぶのには、全て意味があるのです。

昔の時代に戻れと言っているのではありませんよ。誤解しないで下さい。

私が言いたいのは、私たちは結婚を、家族を、家庭を、本当にめちゃくちゃにしてしまったということ。

それは、昔がそうであった理由を理解していないからに他なりません。

今、決心しなさい。今夜、終わらせなさい。

祈りましょう。

頭を垂れたり、目を閉じたりしなくていいです。配偶者がいぶかしがるから。

今座っているその場で祈りましょう。

今夜、今、その場で、「分かった!!」「これで、終わりだ!!」と。それでいい。

そして言いましょ。

「今夜から、夫（妻）と結び合う!!」「もう、夫（妻）を裏切らない!!」

「それは、魂の問題だと分かったから!!」

二人は、完全に裸でありのままでも恥ずかしくない。

何とステキな人たちでしょう！

そうなるようにと、それが、神が意図したことなのです。

あなた自身の水溜めから水を飲め。

流れ出る水を、あなた自身の井戸から。

あなたの泉を外に散らし、広場を水路にしてよいものか。

それを自分だけのものにせよ。

あなたのところにいる他人のものにするな。

あなたの泉を祝福されたものとし、あなたの若いときからの妻と喜び樂しめ。

(箴言 5:15-18 新改訳 2017)